



2011年度  
(平成23年度)

# 事業報告書

学校法人  
聖母被昇天学院

## 1. はじめに 聖母被昇天学院の基本的考え方

聖母被昇天学院の母胎は、1839年フランスのパリで聖マリ・ウージェニーによって創立された聖母被昇天修道会である。

学校法人聖母被昇天学院は寄付行為の第3条（目的）に、「この法人は教育基本法、学校教育法、私立学校法に則り、本学院の母胎である、カトリック聖母被昇天修道会の教育理念に従って学校教育を行うことを目的とする。」と掲げている。

聖母被昇天修道会の創立者聖マリ・ウージェニーはキリストの真理こそが、この地上に真の正義と平和をもたらし、社会を変革することができるかと信じていた。聖マリ・ウージェニーは社会を変革する力がキリストの教えにあると信じていたので、キリストの教えに基づいて若い人たちを教育することが大きな課題であった。そして女性にこの改革に貢献する能力がある、という確信を抱いていた。

聖母被昇天学院の教育の目的、それは社会にあっても、家庭にあっても、どこにあってもキリストの考え方や感じ方を持ち続け、それらに従って自らの行動を選択していける人間へと成長するよう助けることである。

創立者聖マリ・ウージェニーは現代社会で課題となっている「多様性」の社会、互いの存在を尊重し、人間と人間を隔てる壁を打ち壊す、真の意味でのグローバルな社会をすでに170年前に描いていた。また、環境問題についても敏感で繊細な心を持っていた。自然の恵み、創造物への畏敬の念から目に見えない創造主の存在を感じ取る心を持つことを教えることは、幼い日々のかげがえのない賜物になると考えていた。人間はただ単にこの世界に置かれているのではなく、ダイナミックで積極的な絆で結びつけられている。人間は日々存在に不可欠な大気、光、水といった環境と相互依存の中で生きている。私たち人間は環境に気を配る責任を持っている。私たちに任された地球の調和と進歩を促進するのは私たちだからである。自然と同様に私たちの世界の命あるすべてのものは、創造主という同じ起源を共有している。そのことを理解しながら私と同じように尊い「いのち」を持った友達、隣人への理解と共感、人間としての互いに愛情と信頼を生み出すものと考えていた。そして広い視野に立って、自分の生きる時代の現実を理解し、受け止め、変革のために働き、さらに国際社会へと世界に目を向けることができる「自立した女性」を育てていくことが創立者聖マリ・ウージェニーの願う私たちの使命である。

このような強い思いを持って、創立者聖マリ・ウージェニーは世界各国に教育理念の具現化のために教育機関として聖母被昇天学院を創立した。日本では、1952年にフィリピンとヨーロッパから5人のシスターたちが来日して修道院を創ると共に教育事業の開設を準備した。1954年に学校法人として認可されて以来、今日まで57年間、創立者聖マリ・ウージェニーの教育理念の原点に立って日々の教育活動を展開している。

私たちは、一人ひとりの中に神さまから頂いた無限の可能性が与えられていることを信じているので、私たちに託された子どもたちに、その無限の可能性に気づかせ、引き出し発揮させることを心がけている。一人ひとりをお世で貴重でかけがえのない、いのちある人間として大事にする教育を推進している。

創立者聖マリ・ウージェニーの抱いていた教育理念と世界観は、170年を経た現代もなお、21世紀のこの世界に警鐘を鳴らしつつも私たちに大きな希望と励ましを与えるものである。聖母被昇天学院が教育を通じて現代の日本社会にあって果たすべき役割は大きなものがある。私たちは、小さくともキラリと光る社会的に存在価値のある学院として、持続的（Sustainability）に発展し続けることができるように、これからも心をひとつにして、創立者聖マリ・ウージェニーの教育に対する強く熱い思いを受けついで日々力を尽くして行く。

## 2. 学校法人の沿革

### ①法人設立認可年月日

1954年 2月 6日 学校法人被昇天学園 設立認可

1987年 4月 1日 学校法人被昇天学園から学校法人聖母被昇天学院に  
名称変更

### ②学校園設置認可年月日

1954年 2月 9日 幼稚園設置認可

1954年 2月 9日 小学校設置認可

1959年11月 6日 中学校設置認可

1962年 9月29日 高等学校設置認可

1967年 1月23日 短期大学設置認可

2005年 7月29日 短期大学閉学認可

### ③設置する学校園

幼稚園 1953年 4月 1日 開園

小学校 1954年 4月 1日 開校

中学校 1960年 4月 1日 開校

高等学校 1963年 4月 1日 開校(全日制)

### ④学校園の学生数の状況

(2011年5月1日現在) (単位:人)

	入学定員数	収容定員数	現員数
幼稚園	100	310	288
小学校	60	360	284
中学校	80	240	184
高等学校	80	240	199
合計	320	1150	955

⑤ 役員 の 概 要

理 事

(2012年3月31日現在) (定員7名)

区 分	氏 名	常勤・非常勤	摘 要
1号 校長より選任	平 沢 真 人	常 勤	中学校高等学校校長
1号 校長より選任	坂 本 清 美	常 勤	小学校校長
2号 評議員より選任	西 尾 千 鶴 代	常 勤	幼稚園長
2号 評議員より選任	森 田 和 一	常 勤	理事長
3号 修道会より選任	中 山 カナ子	常 勤	学院長
4号 学識経験者	橋 本 昭 一	非常勤	
4号 学識経験者	ミカエル・カルマノ	非常勤	

監 事

(2012年3月31日現在) (定員2名)

区 分	氏 名	常勤・非常勤	摘 要
	小 川 信	非常勤	
	森 川 マリ子	非常勤	

⑥ 評 議 員 の 概 要

評 議 員

(2012年3月31日) (定員15名)

氏 名	主 な 現 職 等	
平 沢 真 人	中学校高等学校校長	2011年就任
坂 本 清 美	小学校校長	2008年就任
西 尾 千 鶴 代	幼稚園園長	2004年就任
河 野 育 郎	法人事務局次長	2009年就任
三 宅 理 磨	中学校高等学校教頭	2008年就任
三 木 史 子	小学校教頭	2008年就任
中 村 祐 子	幼稚園教頭	2009年就任
稲 田 礼 子	卒業生	2008年就任
赤 堀 三 千 子	卒業生	2004年就任
橋 本 み ち よ	卒業生	2004年就任
橋 本 昭 一	関西大学教授	1995年就任
ミカエル・カルマノ	南山大学学長	2002年就任
本 井 文 夫	顧問弁護士	2005年就任
森 田 和 一	理事長	2010年就任
中 山 カ ナ 子	学院長	1995年就任

⑦教職員の概要

(2011年5月1日現在) (単位:人)

区 分		幼稚園	小学校	中学校	高等学校	法 人	合 計
教 員	本務	16	21	15	16		68
	兼務	8	8	7	8		31
職 員	本務	2	2	1	1	6	12
	兼務	3	3	3	2	1	12

3. 2011年度(平成23年度)重点施策

2011年度は以下の重点施策の活動報告

- 1) 園児、児童、生徒の確保、一貫教育の推進
- 2) 教育力の充実強化
- 3) 国際交流、国際理解教育の推進
- 4) 新たに2つの事業を展開・・・幼稚園
- 5) 新学習指導要領に基づく学力の向上・・・小学校
- 6) 校務分掌など組織の改変・・・中学校高等学校
- 7) 教育設備の整備、充実
- 8) 学校評価システムの展開推進
- 9) 高校授業料無償化への対応
- 10) 財政健全化のため中長期計画に取り組む
- 11) 2011年度の高等学校卒業生進路

## 1) 園児、児童、生徒の確保、一貫教育の推進

- ・幼稚園園長、小学校校長、中学校高等学校校長が連携して、内部進学者の推薦、選考を行い、優秀な園児、児童、生徒の確保に努め、定員の確保を図る。

(単位:名)	定員	2011.4.1		2012.4.1		2012.4.1 実績	目標 達成	前年 比	
		実績	目標	実績	目標				
幼稚園	満3歳児		0	15		0			
	3歳児	100	81	90		98	○	○	
	4歳児	105	113	90		107	○	×	
	5歳児	105	92	113		113	○	○	
	計	310	286	308		318	○	○	
小学校	1年生	60	内部	16	12	内部	13	○	×
			外部	30	40	外部	20	×	×
	2年生	60	44	46		48	○	○	
	3年生	60	51	43		44	○	×	
	4年生	60	44	52		50	×	○	
	5年生	60	46	45		45	○	×	
	6年生	60	54	47		47	○	×	
計	360	285	285		267	×	×		
中学校	1年生	80	内部	47	44	内部	36	×	×
			外部	24	30	外部	22	×	×
	2年生	80	51	71		72	○	○	
	3年生	80	62	51		51	○	×	
計	240	184	196		181	×	×		
高等学校	1年生	80	内部	64	56	内部	57	○	×
			外部	10	12	外部	6	×	×
	2年生	80	63	73		72	×	○	
	3年生	80	62	64		62	×	○	
計	240	199	205		197	×	×		
総合計	1150	954	994		963	×	○		

※目標値 = 経営改革策定時の数値

2011年度の入試広報活動の成果は2012年4月1日の入学者在籍者の数値に表れて来る2012年4月1日現在では前年に比べて9名の増となり、目標値に対して31名未達成となっている。

幼稚園の入園者が106名と前年に比べて27名の増と目標をほぼ達成している。

小学校1年生は33名で前年に比べ13名の減、目標に対して19名の減となっている。

中学校1年生は58名で前年に比べ13名の減、目標に対して16名の減となっている。

小学校から中学校への内部進学については課題を残している。小学校から外部流出数が2009年3月で16名、2010年3月で18名、2011年3月で12名、2012年3月で18名といまだに高い水準で推移している。今後とも、小学校の教育力アップときめ細かい進路指導、小中高を通じた一貫教育の充実・推進に取り組むことが肝要である。

## 2) 教育力の充実強化

本学院は一人ひとりの中に神さまから無限の可能性を与えられている児童、生徒に、その無限の可能性に気づかせ、引き出し、発揮させることを教育の原点にしている。

教育力の充実強化を立証するために学力テスト等を定期的実施し偏差値の向上を図り、社会的に存在価値のある学校を目指している。

進路指導においては、一人ひとりに与えられている無限の可能性を発揮できるように夢の実現に向けて、きめ細かい指導をしている。

### ①中高

#### <教科活動>

- ・水曜日に学習優先日を設け、図書室全開や学年会を中心とした補修の実施
- ・定期試験に思考力をつける問題を入れるため、時間を45分から50分に変更
- ・実力テスト・定期テストにおける学力推移を分析し、教員に情報提供
- ・新教務システムの導入による成績処理、通知表の出力方法・活用方法の検討

#### <進路指導>

- ・進学説明会・学部ガイダンス・出張授業・ホスピタリティ講座の校内実施
- ・受験科目講習を継続実施
- ・指定校推薦校との連携系強化のため、重点大学の訪問を強化

### ②小学校

#### <授業力の向上強化>

- ・IT教育機器の活用により、こどもの興味をひきつける授業を各教科で実施
- ・教員の授業力向上を目指し、学力向上のための公開授業、研究授業の推進
- ・外部講師による公開授業と講演による教員研修の実施

#### <学力の向上>

- ・低学年での繰り返し学習の徹底、家庭学習の定着化
- ・高学年の復習教材の難度を上げ、塾に行かなくても学習について安心できる環境作り

#### <英語教育>

- ・低学年からのリーディング教材導入で、読む力・書く力を強化
- ・授業や放課後英語クラスの指導で、英語検定試験で好成績を修めた（6年生の約半数が4級以上を取得）
- ・小中高12年間の一貫編成を完了し、小中高教諭の相互担当により中学校へ繋続

### ③幼稚園

教職員研修による保育内容の充実や資質向上

- ・モンテッソーリ研修の実施
- ・絵画制作の実技研修の実施
- ・危機管理に対する研修

## 3) 国際交流、国際理解教育の推進

国際交流を活発にして世界に広がる聖母被昇天学院として連携を深めて行く。

本年度は小学校でオーストラリア体験学習を行う。中学校高等学校では、フィリピンからの留学生を受け入れるとともに、フィリピンに研修生を派遣する。

### ①小学校

- ・英語サマースクール・サマーキャンプなどを実施し、国際理解・英語教育を充実させる。

### ②中学校高等学校

- ・国際的な感覚や視野を持った女性の育成を目指し、英語教育を中心にして、外国の方との意思疎通を図れる力を身につけさせる。

#### 4) 新たに2つの事業を展開・・・幼稚園

##### ①長時間、長期間保育の実施

現在の幼稚園運営を行いながら、箕面市教育委員会と連携し、「地域の子育てを支える・子育て支援」、「保育所待機児解決策」のため、「長時間・長期間保育」に取り組むとともに、「特別支援の必要な園児」の受け入れに取り組んだ。

##### ②アサンプション・プレスクール（2歳児クラス）の実施

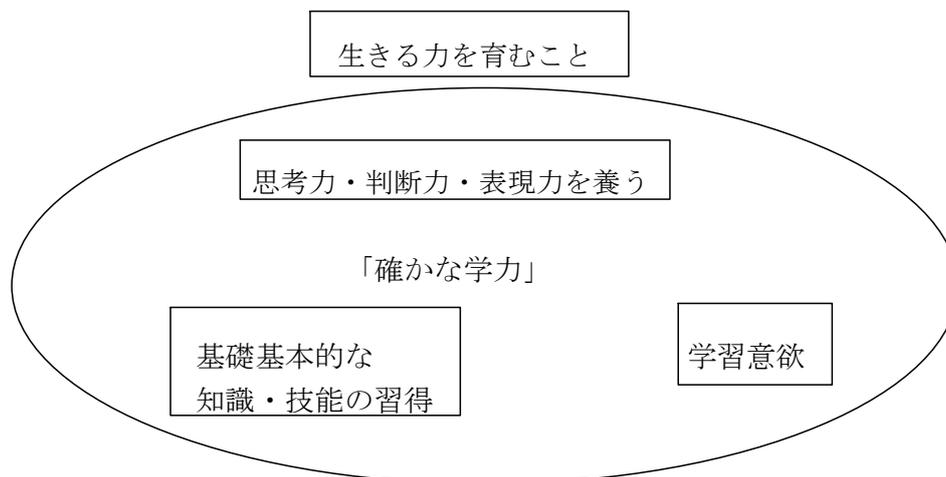
現在の幼稚園の人的・物的資源を有効に活用し、個別の関わりに重点を置いた子育て支援策として取り組む。

また、これまでの「みんなで遊ぼう」を充実させるとともに、満3歳児に結びつく2歳児クラスと位置付け、入園児の確保につなげた。

#### 5) 新学習指導要領に基づく学力の向上・・・小学校

##### ①2011年4月から小学校で新学習指導要領が完全実施された。

新学習指導要領の指導理念は、これまでの「ゆとり教育」からの脱皮を目指している。



##### ②聖母被昇天学院では、従来から実施して来ている「確かな学力」を土台に、「豊かな心」と「健やかな体」を育てて行く。

基礎・基本的な知識・技能をきちんと習得し、その上で、一人ひとりに与えられている無限の可能性に気付かせ、引き出し、発揮させながら、自ら学び、考え、思考力・判断力・表現力などを養う教育を推進して行く。

#### 6) 校務分掌など組織の改変・・・中学高等学校

##### ①校務分掌の見直し

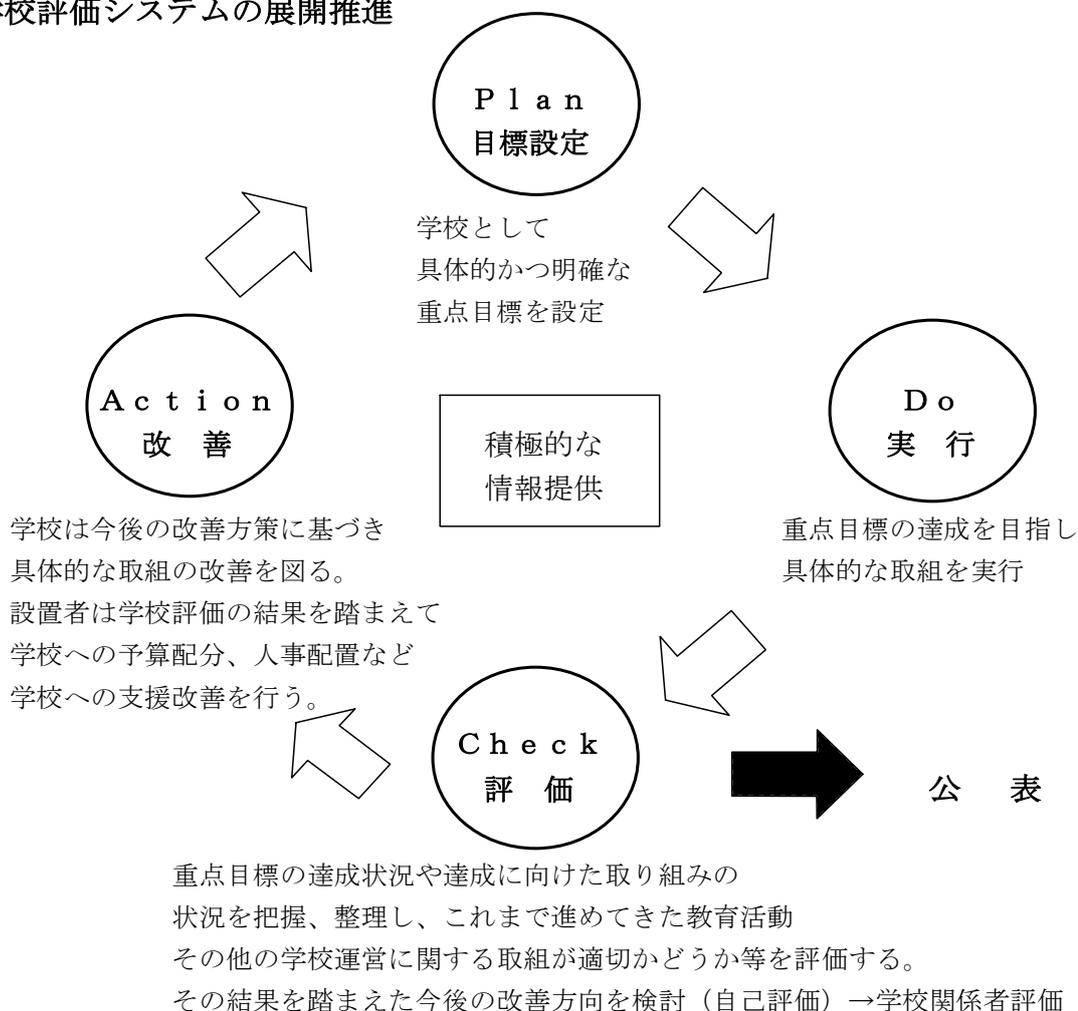
主任制度の導入など校務組織を改変し、教育活動の更なる充実を図った。

##### ②小中高管理職会議を活性化し、各所属が連携して一貫教育を推進してきた。

## 7) 教育設備の整備、充実

- ①大規模施設の改修は前年度で終了した中、今年度は雨水の雨漏りから、西館（中高校舎）外壁の改修を実施した。
- ②聖堂前の芝生養生を実施した。
- ③グラウンド西側、水溜まり軽減に伴う雨水排水の容量増の工事を実施した。

## 8) 学校評価システムの展開推進



2007年6月の学校教育法一部改正により、学校評価の実施とその結果に基づく学校運営の改善及び学校の情報提供に係る総合的な根拠規定が盛り込まれるとともに、2007年10月には自己評価結果の公表が定められ、あわせて新たに学校関係者評価についても規定された。

このことを受けて本学院においても2008年度から「学校評価委員会」を発足させ、12月から翌年1月にかけてアンケートにより各校園の学校評価を全教職員に実施するとともに、2009年度から学校関係者の評価も加えて実施している。

また、2009年度からの実施結果については、ホームページ上に公開している。  
実施した学校評価結果に基づいて、改善サイクルを活用した学校評価システムの構築を図り、改善 ⇒ 目標設定 ⇒ 実行 ⇒ 評価のサイクルを展開推進させ、より良い学校運営を図った。

## 9) 高校授業料無償化への対応

前年度に引き続き、本学院は「私立高校生就学支援推進校」の指定を受けている。  
これにより2011年度の新1年生の保護者負担は、年収610万円未満の世帯を対象に、国からの支援金と大阪府からの補助金で、授業料の全額が助成される。

また、年収が610万円以上800万円未満の保護者負担は、国及び府の助成で10万円程度に軽減され、800万円以上の保護者については国の支援金11万8800円が助成される。

なお、前年度からの在學生は旧制度の適用となるため、補助金との差額については、学院で補填する。

補填人数 12人 312,000円

**授業料支援制度(2011年度入学生以降) 大阪府**

保護者の年収	年間授業料等	国の支援金	府の補助金	保護者負担
250万円未満	576,000円	237,600円	338,400円	0円
250万円以上350万円未満		178,200円	397,800円	
350万円以上610万円未満		118,800円	457,200円	
610万円以上800万円未満			357,200円	100,000円
800万円以上			0円	457,200円

※2010年度からの在學生については、旧制度が適用される。

10) 財政健全化のため中長期計画に取り組む。

(単位：千円)

	2010 (H22)	2011 (H23)		2012 (H24)	
	実績	目標	実績	目標	予算
生徒数	982名	970名	954名	994名	973名
収入	813,814	817,672	831,427	845,267	779,632
支出	974,966	819,997	845,309	780,042	768,197
収支	△161,152	△2,325	△13,882	65,225	11,435
支出内人件費	700,963	659,777	653,426	656,034	642,702
人件費率	86.1%	80.7%	78.6%	77.6%	82.4%

※収入 = 学生生徒等納付金収入 + 手数料収入 + 寄付金収入 + 補助金収入  
但し、寄付金収入のうち奨学金基金寄付金は除く

## 1 1) 2011年度の高等学校卒業生進路 (卒業生62名、過年度生2名)

### 〈国公立大学〉

大阪大学 (歯学部、文学部)	2名
大阪教育大学 (教育学部)	1名
神戸大学 (海事科学部)	1名

### 〈私立大学・共学校〉

関西学院大学	5名	関西大学	4名
甲南大学	2名	近畿大学	1名
摂南大学	1名	兵庫医療大学	1名
大阪芸術大学	1名	大阪音楽大学	1名
大手前大学	1名	京都精華大学	1名
帝塚山学院大学	2名	大阪学院大学	1名

### 〈私立大学・女子校〉

聖心女子大学	1名	神戸女学院大学	2名
同志社女子大学	1名	京都女子大学	1名
武庫川女子大学	1名	甲南女子大学	2名
神戸松蔭女子学院大学	3名	大阪女学院大学	2名
梅花女子大学	1名	大阪樟蔭女子大学	1名

### 〈私立姉妹校〉

京都ノートルダム女子大学	3名	大阪信愛女学院短期大学	1名
--------------	----	-------------	----

### 〈短期大学〉

上智大学短期大学部	1名	関西外国語短期大学	1名
南山大学短期大学部	1名	武庫川女子短期大学部	1名
京都聖母女学院短期大学	1名	神戸常磐大学短期大学部	1名
湊川短期大学	1名	東洋食品工業短期大学	1名

### 〈専門学校〉

大阪コミュニケーションアート	1名	神戸製菓	1名
H I U C 国際大学機構	1名	大成学院大学歯科衛生	1名
大阪医療福祉	1名	京都外国語	1名

〈留 学〉 2名

〈その他〉 4名